



原発事故による避難者・被災者への「応援金」

組合員の思いを込めて届けます。

パルシステムは原発事故が起きた2011年から、被災された方々や避難者を応援する活動を続けています。

組合員のみなさんから寄せられた募金は「東京電力福島第一原子力発電所事故被災者応援金」(以下、応援金)として、さまざまな支援活動に生かされています。2020年度は一般社団法人「ふうあいねっと」(茨城県水戸市)など6団体に助成しました。

どんな活動に
生かされている?

一般社団法人「ふうあいねっと」では
子ども・若者の夢を応援

主に福島県から茨城県への避難者のくらしや交流をサポートしている一般社団法人「ふうあいねっと」。2020年度の応援金は「子どもの夢応援プロジェクト」に活用されました。県内に避難している子どもや若者に、「自分の夢をかなえるために必要なもの」を作文で応募してもらった企画です。審査の結果、小学生から高校生まで8人の夢を選び、希望のものを贈りました。

「避難生活を続けている子どもたちの将来の夢を応援したいという思いもあって始めたプロジェクトです」と話すのは代表理事の原口弥生さん。プロジェクトを通じ、未来を担う若者世代とつながる機会にもなればと考えているそうです。

避難者のなかにはすでに茨城県内で生活再建ができていの方もいる一方で、生活困窮に陥っている方もいます。避難先で知り合いも少なく、さらにコロナ禍もあって孤立を深めている方からの相談も寄せられる現状があります。

「このような状況下でも、応援金で活動を続けられることに感謝しています。何より組合員のみなさんが関心をもち続けてくださることが、本当に心強いです」(原口さん)

「ふうあいねっと」の「子どもの夢応援プロジェクト」で贈られたもの

オープンレンジやパソコンなどが贈られ、受け取った子どもたちからは感謝の声が届きました。



ありがとう
の声

オープンレンジでケーキやクッキーを作って、まわりのみんなを元気にできるようにがんばりたいです!(小学生)



ありがとう
の声

私の夢は保育士になることです。今はパソコンでタイピングの練習をしています。ずっと大切に使いたいと思います。(高校生)

パルシステムの
「応援金」とは?

2020年度は6団体に
総額266万円をお届け

9月9日にオンライン開催された助成団体の活動報告会には「ふうあいねっと」など3団体が参加。福島県郡山市で障がい児と家族の支援を行うNPO法人「ふよう土2100」の大澤康泰さんは、福島の子どもの現状や応援金を使った自然体験活動などについて報告しました。「みんなのおうち公園 保養の家」(山梨県北杜市)の安室静江さんは、福島などの子どもたちが放射能の不安から開放されて過ごすことができる保養施設を、応援金で改修したことを紹介。パルシステム連合会の高橋宏通(常務執行役員)は、「コロナ禍でも工夫して活動されていることに敬意を表します。今後も応援をやめず、組合員の力も借りて、この取り組みを続けていきます」と述べました。

原発事故から10年がたちますが、今も放射能への不安を抱えながら生活をしている方、避難先でのサポートを必要とする方が少なくありません。時間がたつなかで公的支援が減り、さらにコロナ禍で活動に影響が出るなど、支援団体も新たな課題に直面しています。パルシステムでは、避難者・被災者に寄り添い地道に活動を継続している支援団体を応援するため、組合員から募金を募り「応援金」として助成しています。2020年度は6団体に、総額266万円をお届けしました。

「東京電力福島第一原子力発電所事故被災者応援金」
現金、ポイントによる募金にご協力ください!

6桁の注文番号を
入力・記入してください

300円(ポイント)

1,000円(ポイント)

●注文用紙、インターネットでいつでも受け付けています。

現金募金

186601

186619

●インターネット注文は、「買い物カゴ(注文内容確認画面)」の「ポイント使用お申し込み」より入力してください。

ポイント募金

169056

169064

放射能検査状況について

2021年度の検査数(カッコ内は検出件数)/2021年9月2日現在
※最新の検査状況は下記左側の二次元コードよりご覧いただけます。

総計: 984(12) 不検出率: 98.8%

2020年度の検査数 総数2138(31) 不検出率98.6%

青果	234(0)	2020年度、れんこん(3.5~7.8Bq/kg)から放射能が自主基準内で検出されました。
しいたけ	17(12)	2021年度は生しいたけ(5.5~20Bq/kg)、岩手県産乾しいたけ・小粒どんこ(21Bq/kg)、2020年度は冷凍食品の産直原木しいたけ(11Bq/kg)から放射能が自主基準内で検出されました。
他のきのこ類	13(0)	2020年度に続き、9月2日現在で放射能の検出はありません。
米・米飯類	2(0)	2021年産はJAきみつの『千葉ふさおとめ』の玄米を検査し、不検出でした。今後も順次、検査を行っていきます。

牛乳、肉、卵	26(0)	産地ごとに定期的に検査しています。2020年度に続き、9月2日現在で放射能の検出はありません。
魚介類	49(0)	2020年度に続き、9月2日現在で放射能の検出はありません。
飲料水・飲料	29(0)	2020年度に続き、9月2日現在で放射能の検出はありません。
乳幼児用食品	94(0)	2020年度に続き、9月2日現在で放射能の検出はありません。
その他加工食品	520(0)	2020年度、ほしいも(3.0Bq/kg)から放射能が自主基準内で検出されました。

※乳幼児用食品のみ検出下限値1Bq/kg、その他は検出下限値3Bq/kg。



●週次の「放射能関係のお知らせ」はインターネットに掲載しています。

●インターネットから見られない方はこちらにお問い合わせをお願いします。

パルシステム東京・パルシステム神奈川・パルシステム千葉・パルシステム埼玉・
パルシステム茨城 栃木・パルシステム福島・パルシステム静岡・パルシステム新潟ときめき

パルシステム
問合せセンター

0120-868-014

月~金曜日:9時~20時
土曜日:9時~17時

※通話料は無料です。 ※お問い合わせ内容の確認とサービス向上のために、通話の内容を録音しております。

パルシステム山梨

甲斐センター ■0120-28-5891 高崎センター ■0120-60-5118
西桂センター ■0120-32-1061 渋川センター ■0120-36-3315
一宮センター ■0120-21-9898 東毛センター ■0120-63-3735

パルシステム群馬

※センターによって、携帯電話からはご利用できない場合があります。